

Subject: 日本保健物理学会 新Newsletter 2017年7月11日号
From: 一般社団法人日本保健物理学会 <exec.off@jhps.or.jp>
Date: 2017/07/11 9:19
To: <exec.off@jhps.or.jp>

日本保健物理学会 新Newsletter 2017年7月11日号

1. 学会関連情報

- 日本保健物理学会第50回研究発表会・日本放射線安全管理学会第16回学術大会合同大会（6月28日?30日、大分市）終了
予想をはるかに超える約450人の方にご参加いただきました。
盛会になりましたこと、皆様にご報告しますとともに厚く御礼申し上げます。（甲斐大会長より）

2. 関連する研究動向

- ICRP 10項目の優先研究課題を公開（6月27日）

<http://www.icrp.org/docs/ICRP%20Research%20Priorities%202017.pdf>

- ICRP-ERPW 2017 アブストラクト申し込み期限7月14日に延長（10月10?12日、パリ）

The 4th International Symposium on the System of radiological Protection of ICRP and
for the 2nd European Radiation Protection Research Week of the European research platforms

<http://www.icrp-erpw2017.com>

(論文情報)

- Thyroid 2017 accepted for publication

福島健康管理調査において子供とヤングアダルト計299,908人について甲状腺無形成症及び片葉欠損の有無を検査。
甲状腺片葉欠損の検出率は0.02%でほかの国々での報告と一致。右片葉欠損は女性に多く、左片葉欠損に男女差は認められなかった。
Prevalence and characterization of thyroid hemiagenesis in Japan: The Fukushima Health Management Survey
S Suzuki et al

<http://online.liebertpub.com/doi/abs/10.1089/thy.2016.0662>

- Journal of Radiological Protection Vol. 37 Number 3, 25 Sep

福島県の県民健康調査によって推定された個人外部被ばく線量の代表性を検討するために戸別訪問調査を実施し、線量の平均値に関する
同等性検定の結果、

0.25mSv以内の同等性基準において、県民健康調査と戸別訪問調査による集団の線量は同等であることが示された。

Representativeness of individual external doses estimated for one quarter of residents in the Fukushima Prefecture after
the nuclear disaster:

the Fukushima Health Management Survey

T Ishikawa et al

<http://iopscience.iop.org/article/10.1088/1361-6498/aa6649/pdf>

- Geochemical Journal Vol. 51 2017
福島県で採取した非球型の放射性Cs微粒子の構成分子の構造と分布をSTEMで調べた結果、Cs微粒子には多様な種類があり、その構造はフィールドで時間とともに変化する可能性があることが示唆された。
Structures of radioactive Cs-bearing microparticles in non-spherical forms collected in Fukushima
N Yamaguchi et al
https://www.terrapub.co.jp/journals/GJ/pdf/2017e/OA_GJ483.pdf
- 3. ニュースや社会の動き
 - 原子力規制委員会 今後推進すべき安全研究の分野及びその実施方針（平成30年度以降の安全研究に向けて）（案）を公開（平成29年度第21回原子力規制委員会7月5日資料）
<https://www.nsr.go.jp/data/000195222.pdf>
 - 量研機構 日本原子力研究開発機構から受け入れた被ばく作業員の方々の内部被ばく線量評価について（7月10日プレスリリース）
検査結果に基づく内部被ばく線量の評価結果を公表 100 mSv以上 200 mSv未満: 1名、10 mSv以上 50 mSv未満: 2名、10 mSv未満: 2名
<http://www.qst.go.jp/Portals/0/pdf/information/press/170606/press170710-2.pdf>
 - 日本RI協会 線源供給事業施設を川崎市の新施設に移転、平成30年1月より業務開始
<http://www.jrias.or.jp/association/cat2/102.html>
 - 富士通研究所 富士通研究開発中心有限公司と共同で、CT検査におけるAIを活用した類似症例検索技術を開発
<http://pr.fujitsu.com/jp/news/2017/06/23.html>
- 4. これからのイベント
 - 東北大学大学院工学研究科 公開講座『福島事故以降の安全学に向けて』
（8月23日 8:50～8月25日16:10、東北大学大学院工学研究科 総合研究棟 110号室）
http://www.most.tohoku.ac.jp/%E5%85%AC%E9%96%8B%E8%AC%9B%E5%BA%A7/h29_security_safety/
 - 原子力安全技術センター 高いレベルの放射線管理技術者キャリアアップ研修
線量評価研修会（3日間） 8月8?10日ほか、東京都文京区（原子力安全技術センター）
実用校正研修会（2日間） 10月26, 27日ほか、茨城県東海村（放射線計測協会）
<http://www.nustec.or.jp/project/rad-kensyu.html>
 - 福島県立医科大学とICRP Joint FMU-ICRP Workshop on Radiological Protection in Medicine
（10月3日、福島県立医科大学）
<http://www.icrp.org/docs/Joint%20FMU-ICRP%20Workshop%20Oct%202017%20First%20Announcement.pdf>
- 5. 公募情報、学生・ポスドク受入情報
 - 高エネルギー加速器研究機構 共通基盤研究施設教員 教授1名（任期なし）（締切：7月31日 17:00必着）
<http://www.kek.jp/ja/Jobs/arpr17-2j.pdf>

○京都大学大学院工学研究科原子核工学専攻 核エネルギー工学講座 量子制御工学分野 准教授
(締切：9月15日必着)

<http://www.ne.t.kyoto-u.ac.jp/ja/information/koubo/kouboyokou20170703ryousiseigyo>

○日本原子力研究開発機構 技術系職員（キャリア採用）募集若干名（締切：7月31日必着）
(募集テーマのひとつに「核燃料サイクル工学研究所における放射線管理・技術開発に関する業務」あり)

<http://www.jaea.go.jp/saiyou/career/217/>

既発行の新Newsletterはこちらです。

<http://www.jhps.or.jp/newsletter/index.html>

新Newsletterにて発信を希望する情報をお持ちの方は、学会事務局へご連絡・お問い合わせください。

【発行】 一般社団法人日本保健物理学会
【編集】 同企画委員会
【発信元】 同学会事務局
TEL: 03-6205-4649 FAX: 03-6205-4659
E-mail: exec.off@jhps.or.jp
